

2024年個人プロジェクト活動

自己紹介 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）隊員の田村誠と申します。矢板市有林や林道の整備を行い林業の知識と技術を習得し、地域おこし協力隊の活動を通して得た経験を活かして起業し、半林半Xの生活を目指しています。



テーマ 激辛唐辛子「辛富士」の栽培・加工

木を伐採した山林に植栽したスギ・ヒノキが、鹿などによる食害を受ける被害が深刻な問題となっています。スギ・ヒノキの獣害対策に使用する忌避剤の原材料となる激辛唐辛子「辛富士」の、栽培・加工等生産体制の整備を行います。

本年度は、昨年採取した辛富士の種を播種し育苗に挑戦いたします。



辛富士の収穫



小型乾燥機による乾燥



粉碎作業



種取り作業

目標
育苗数 1600株（20a分 800株／10a使用）
収穫量 200kg／20a（上伊佐野圃場合計約20a）

工程	育苗	育苗用ビニールハウス建設	2月下旬までに建設
	播種	プラグトレイとポリポッド半分ずつ	2月下旬～
	鉢替え	プラグトレイからポリポッド	4月上旬～
		播種時期の選定、プラグトレイ苗とポリポッド苗の生育状態の差異確認	
栽培	耕運・耕起	定植2か月前までに完了（3月下旬）	
	施肥	定植1か月前に施肥（4月下旬）	
	畝立て・マルチング	定植2週間前に実施（5月上旬）	
	定植・除草・追肥	定植は5月下旬から開始	
	収穫・乾燥・粉碎 採取・耕運	収穫量に応じて適宜乾燥粉碎 育苗用の種を採取し、畑の後片付け	

収支

辛富士の試験栽培・加工において収支表を作成し、将来的に収支予測の見通しが立てられるようにする。

地域おこしとの関連性

植栽したスギ・ヒノキの食害対策の忌避剤は、原料となる激辛唐辛子「辛富士」が安定供給されておらず十分に生産されていない状況です。この忌避剤は施工が容易なため、経済性が高く、全国で使用されれば食害被害の低減に繋がると考えています。